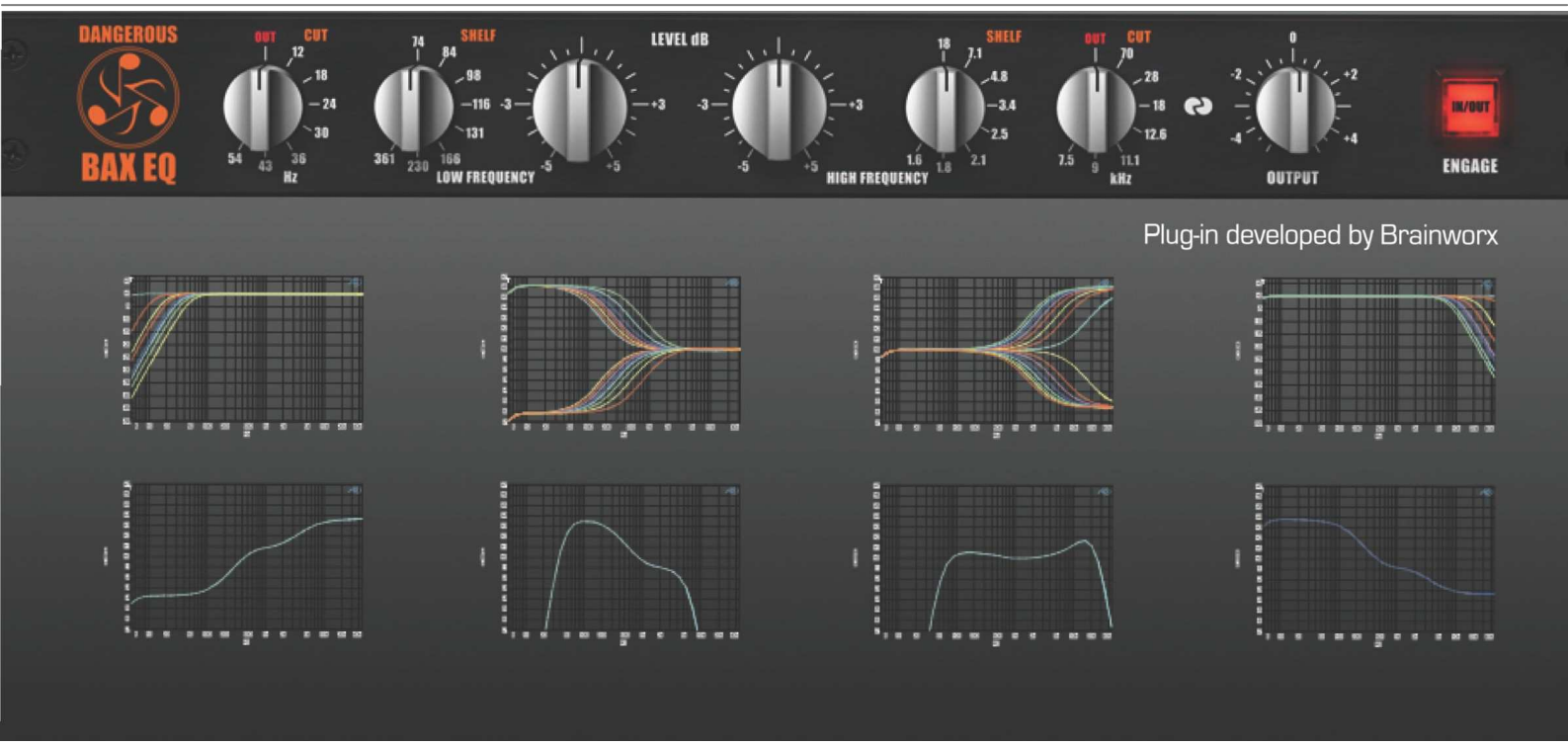
DANGEROUS MUSIC

BAX EQ プラグイン

The Dangerous Music Equlizer

ユーザーガイド



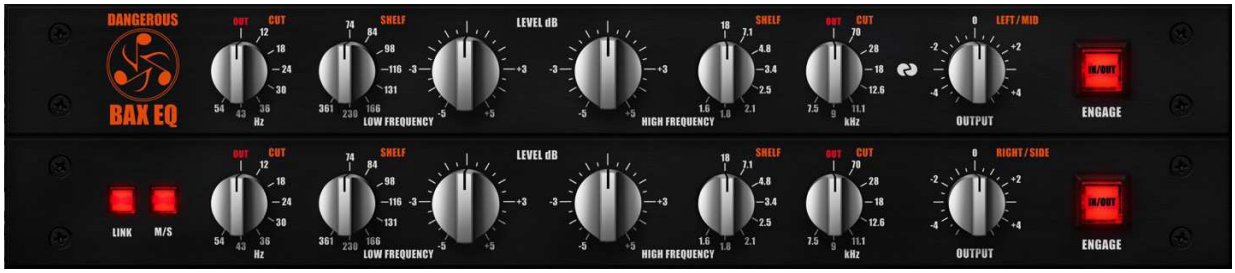
概要

Dangerous BAX EQ は、何百万ものハイファイ・システムを凌駕してきた Peter Baxandall の伝説的な 1950 代のデザインにインスパイアを受けて開発されました。BAX EQ 独特の、幅広く、オープンなカーブ、穏やかなスロープは、レコーディング、ミックス、マスタリングには欠かせない存在です。トップ 10 ボーカルに使用すれば空気感に完璧な艶を与えます。ギターサウンドには豊かなミッドレンジ、ボトムレスのベースとスペースを簡単に得ることができます。BAX EQ をあなたのツールに加えてください。そうすると音楽を曇らせる根源を元から取り除くことに成功し、音楽をすっきりさせ、リッチでスウィートにします。

このプラグインは、アメリカの DANGEROUS MUSIC の知識豊富なスタッフと密接に協力を得て、BRAINWORX によってオリジナルの BAX EQ ハードウェアの回路図に習って忠実にモデリングされています。

このプラグインを使用すると、スタンダードな BAX EQ の機能にアクセス出来るだけでなく、我々によって追加したデュアルモノ、M/S マスタリングバージョンを使用することができるようになります。

[BAX EQ – ミックスバージョン]



[BAX EQ – マスターバージョン]

どちらのバージョンを使用しても BAX EQ の正確なモデリング＆オリジナルサウンドが得られます。

ハードウェアにおけるミックスバージョンは、左右のチャンネルが別々にコントロールすることができないシングルコントロールバージョンです。しかし、プラグインでは、異なるセッティングが必要な時に、いつでもマウスで個別に調節することが可能です。

マスタリングバージョンは、ハードウェアと同様に左右チャンネルで異なる設定で調整することが可能なエンハンスド 2RU バージョンです。さらに、ステレオミックスのミッド＆サイドシグナルをコントロールできるよう M/S モードを追加しました。ステレオイメージを広げ、低域をモノラルにしたり、その他クリエイティブな目的のために使用可能です。

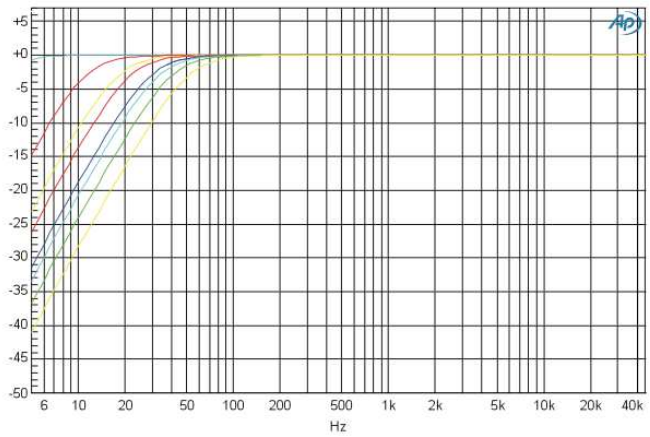
フロントパネルの機能と利点

1. LOW FREQUENCY カットフィルター

[LOW FREQUENCY カットノブ]

機能　　超低周波数の響きをリダクション

利 点　　INFRASONIC RUMBLE という超低周波数の不必要な響きを表す PC 用語があります。可聴域外でありながらヘッドルームを消耗させる不要な周波数は、ジェット音、地下鉄やレイリー波（地震など）から生まれます。これらの帯域を劇的に取り除くことでローエンドに明快さとパンチを与え、より高いレベルでの再生を可能とします。



[LOW FREQUENCY フィルターのグラフ]

機能　　12 dB /オクターブのロールオフ

利 点　　これらのフィルターはゆがみ、エラ—のないスムースで正確かつ、音楽的なサウンドです。

ヒント　　お好みのミックスを聴きながらノブを回して音の変化を聴き比べてください。

機 能　　個々のバイパス

機能　　最初のポジションは、オーディオの帯域を超えています。

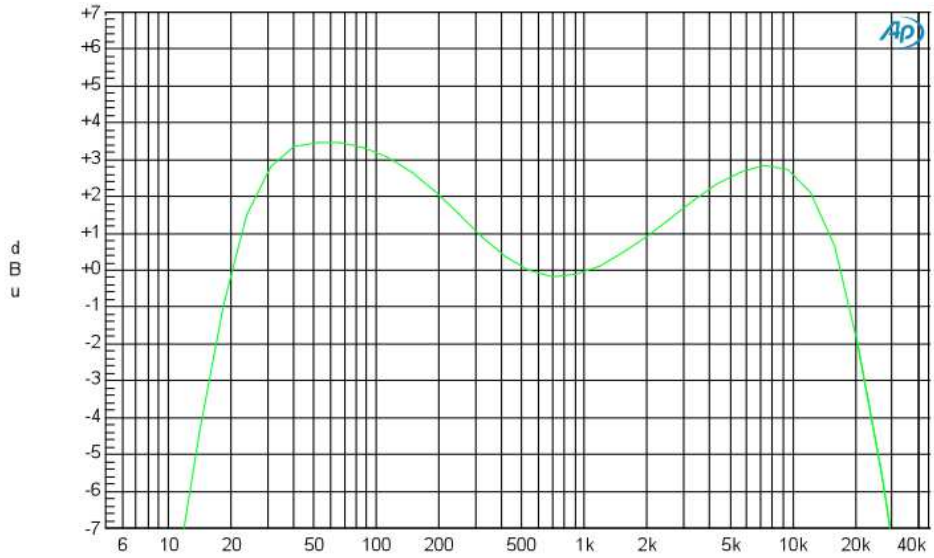
利 点　　オフセットを避けるために DC をフィルタリングします。

利点　　ハードウェアでは、真の A/B 比較を行うためにリレーはシグナルパスからフィルターを完全に切り離すことが理想です。多くの EQ で比較を行う場合、バイパスされていたとしても回路内のフィルターをそのまま通っていますが、これは潜在的なノイズや歪み、フェイズシフトの問題が起こる場合があります。 BAX EQ はオーディオチェインに 1 つだけの選択した周波数を配置します。プラグインは、この動作を採用しモデリングしています。

ヒント　　トラッキングやミックスを行う間、このスイッチを入れたままにしてください。詳細については上記の“超低周波数の響きをリダクション”を参照してください。

ヒント　　シェルフと一緒にこのノブを調整すると、音楽的な輪郭を作るためにコントロールすることができます。

操作　　適切だと思える周波数にノブを合わせてください。



[フィルターとシェルフを組み合わせて動作させた場合の動作例のグラフ]

2. LOW FREQUENCY シェルフ

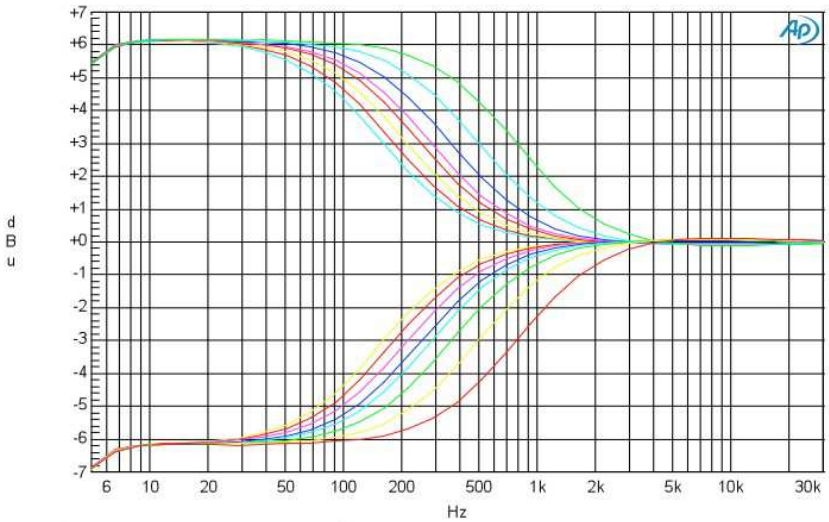
[LOW FREQUENCY シェルフ・ノブ]

機能　　数オクターブに渡って影響する広帯域シェルビング EQ

利点　　50 や 60Hz サイクルのハムノイズのような問題を対象とし、多くの場合で他の帯域のオーディオに犠牲が必要になるような EQ シェイプ と違い、BAX EQ は形よく、フェイズディレイが最小限に留められたセクシーでスウィートな効果が得られます。

ヒント　　周波数は、スロープの一番下部に位置し、このように自然でスムースなキャラクターでミッドレンジをコントロールします。

操作　　ブースト/カットと共にフィルターをオンにすることで音のパワーを増加させます。同時にメインコントロールを上げ、フィルターをカットします。



[LOW FREQUENCY シェルフのグラフ]

3. LOW FREQUENCY レベル・コントロール

[LOW FREQUENCY レベル・コントロール]

機能　　マスタリングバージョンでは、個々の左/右、または M / S をコントロールします。

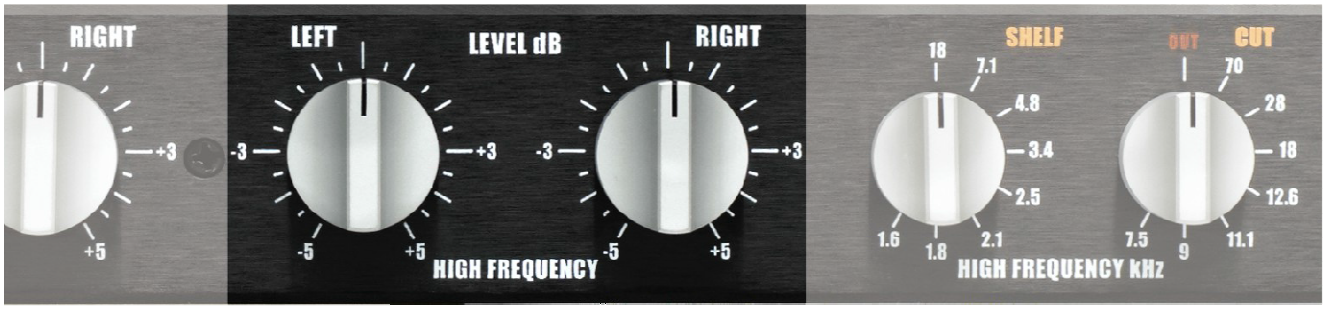
利点　　個別の左/右コントロールは、0.5 dB ステップであらゆるステレオの低周波数のアンバランス補正を可能にします。例：左チャンネルにぶつかる音がある場合は、それに応じて 0.5dB 程度下げてください。

利点　　M/ S ステレオトラッキングや、ミキシングに BAX を活用。M/S ステレオ・フィールドで低域を調整します。(M/S モード時)

機能　　段階的アッテネーション

利点　　段階的なノブは、完璧な正確さでレベルをコントロールします。より多くのパンチを必要とする場合、必要に応じて慎重な操作でレベルを増やしてください。

4. HIGH FREQUENCY　レベル･コントロール



[HIGH FREQUENCY レベル･コントロール]

機能　　マスタリングバージョンで個々の左右、または M/S コントロール

利点　　low frequency レベル･コントロール、独立した左/右コントロールと同じで 0.5 dB ステップであらゆるステレオの低周波数のアンバランス補正を可能にします。例：左チャンネルにぶつかる音がある場合は、それに応じて 0.5dB 程度下げてください。

利点　　M/ S ステレオトラッキングや、ミキシングに BAX を活用。M/S ステレオ･フィールドで低域を調整します。（M/S モード時）

機能　　段階的アッテネーション

利点　　段階的なノブは、完璧な正確さでレベルをコントロールします。より多くのパンチを必要とする場合、必要に応じて慎重な操作でレベルを増やしてください。

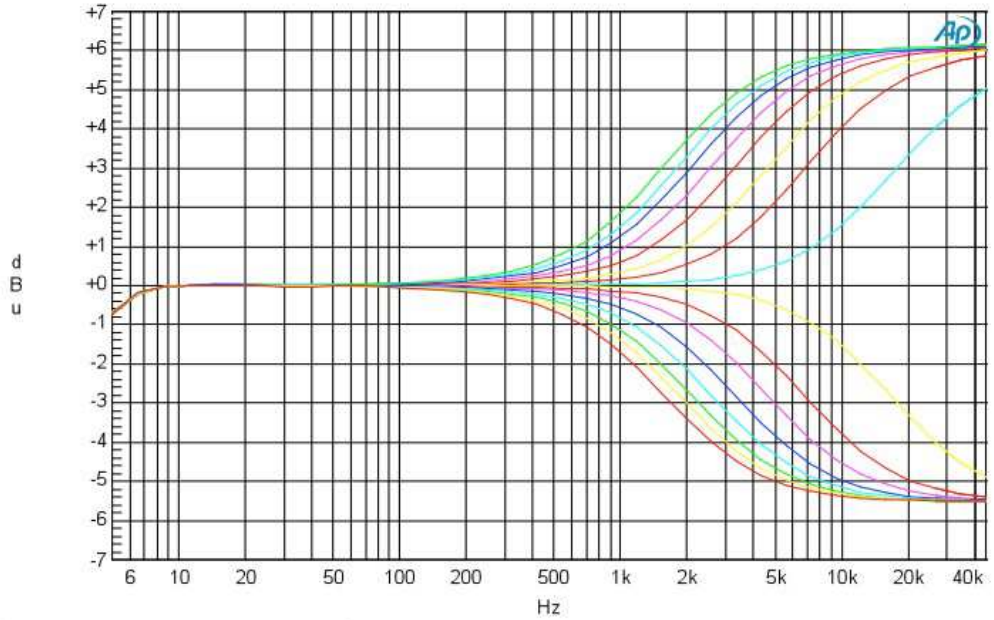
HIGH FREQUENCY シェルフ

[HIGH FREQUENCY シェルフ･ノブ]

機能　　数オクターブに渡って影響する広帯域シェルビング EQ

利点　　弦に関するノイズ問題を対象としますが、多くの場合で他の帯域のオーディオに犠牲が必要になるような EQ シェイプ と違い、BAX EQ は形よく、フェイズディレイが最小限に留められ、スッキリとした効果が得られます。

ヒント　　周波数は、スロープの一番中央に位置し、このようにほとんどの可聴帯域に対応しています。最も高い周波数ショルダーは、リストした周波数のおよそ 2 倍です。（カット/ブーストは正確に 5dB です）1.6kHz をエディットする際の 5dB ブーストは 3.2kHz で発生します。

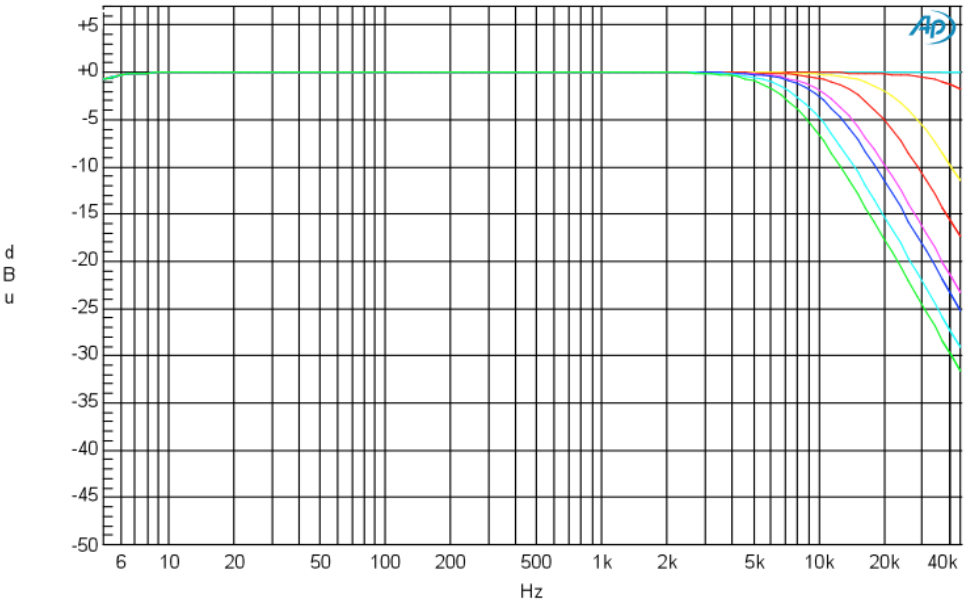


[HIGH FREQUENCY シェルフ・グラフ]

5. HIGH FREQUENCY カット

機能　　超音波のノイズリダクション

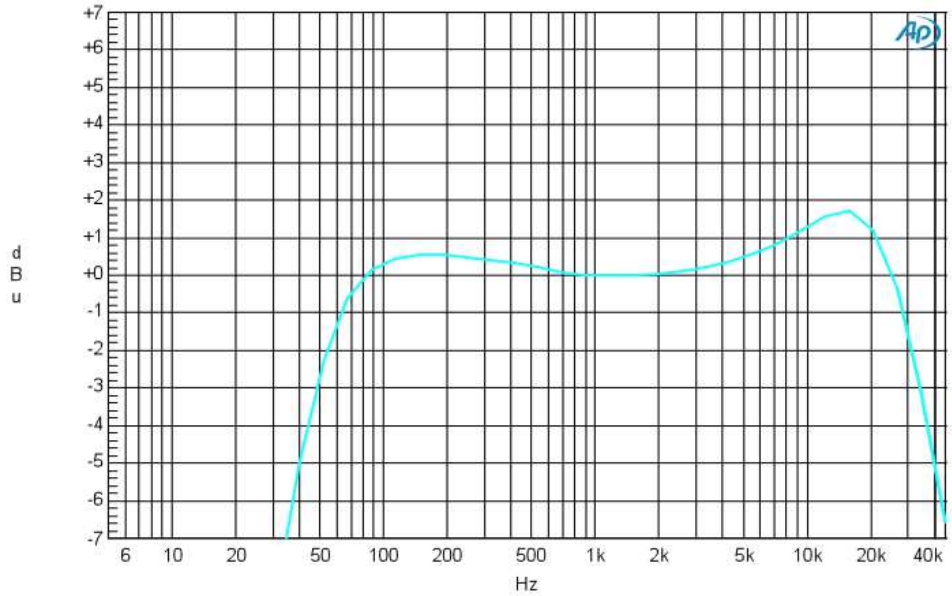
利点　　超音波、または可聴域外のノイズは、人工的にも、自然界にも存在します。これらは聴こえなくてもオーディオとしてのレベルを持つために、オーバーロードする率を増やし、オーディオ経路に過負荷を与える場合があります。



[HIGH FREQUENCY フィルター・グラフ]

ヒント　　トラッキングしながら HI CUT フィルターを使用します。特にトップエンドの量をブーストますが、この方法では激しい響きを加えることなく、明るく空気感のあるトレブルを提供します。コンデンサーマイクにブライトさを加えたり、リボンマイクに空気感を追加します。

下のグラグを参照してください。



[ウォームで輝くボーカルを作るためのフィルターとシェルフの組み合わせ]

6. ENGAGE イン / アウト

[ENGAGE イン / アウト・ボタン]

機能　　プラグインのバイパスをコントロール.

利点　　バイパスをしている時は、回路から BAX EQ と全てのフィルターを取り除き、本当の意味で A/B 比較を可能とします。

BAX EQ アプリケーションノート

カットとレベル・コントロールを組み合わせる

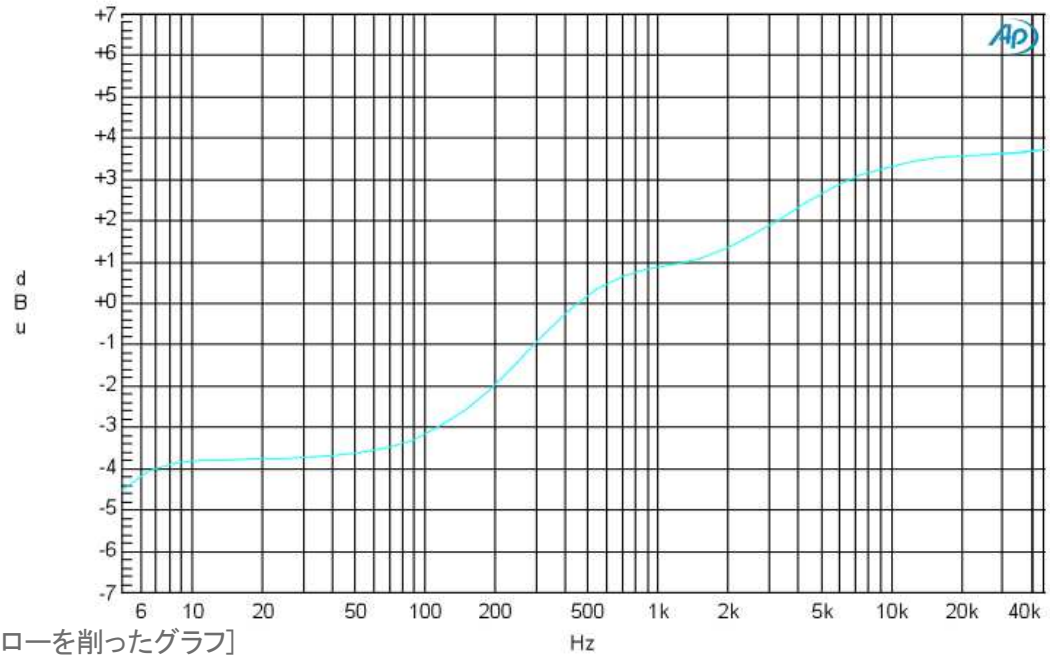
ヒント　ミックスにより多くのボトムを加えたい場合、最初はカットしてからその後に加えてください。そうすることでよりタイトでパンチのあるローエンドが得られます。

ヒント　トラッキングに BAX EQ を使用。“cut only mode”を使用してソースの周波数レンジをコントロールするために様々なトラックに使用してください。このように劇的にエネルギーを集中させ、音の鳴りを良くします。

ヒント　ブースト/カット・コントロールと組み合わせてフィルターを使用する事により、音色にパワーを与えます。同時にメインコントロールでブーストし、フィルターでカットを行います。

ヒント　後者の効率を良くするために正確な EQ と併せて BAX を使用します。

ヒント　オリジナルのキャラクターを変えることなく良いサウンドから素晴らしいサウンドへ向上させるためにギアチェイン（マイクプリ、コンプ、EQ）に加えてください。



[ローを削ったグラフ]

実際に性能を試すためにあなたのセッションに BAX EQ を使用してください。

不必要な成分を除去するためにカット・コントロールを使用して、コンバーターの負担を減らしてください。BAX　EQ は、サウンドの中のオーディオを成形するためにシェルビングとレベル・コントロールを使用する場合、注目すべきツールであることを覚えておいてください。オーディオが本来必要とするシェイプをみつけ、コントロールしてください。

Dangerous Music 開発チーム